

令和4年度 JAQGサプライチェーン マネジメントハンドブック説明会について

1. はじめに

JAQG (Japanese Aerospace Quality Group) は、世界の航空宇宙業界における品質活動をリードするIAQG (International Aerospace Quality Group) に対応した国内組織として、2001年当工業会 (SJAC) 内に設置された。品質に関する国際統一規格の制定、認証制度の確立を図ることにより、品質改善とコスト削減を行うことを目的としている。2001年当初79社で設立したメンバー数も、現在では500社を超え、多くの方のご指導を受けながら活動を展開している。

ここでは、令和4年11月にJAQGメンバーに向けて開催した令和4年度 JAQG サプライチェーンマネジメントハンドブック説明会の概要を紹介する。

2. サプライチェーンマネジメントハンドブック (SCMH) 概要

JAQGの主な活動は、航空宇宙分野の品質マネジメントシステム規格である9100規格 (汎用的な品質マネジメントの国際規格ISO 9001に、航空宇宙業界特有の要求事項を追加したもの。日本ではJIS Q 9100:2016年版規格として発行されている) の制定/普及、JIS Q 9100認証制度の運用と監視、品質保証に関するガイダンス・ベストプラクティスを提供することである。

SCMH (Supply Chain Management Handbook) は、IAQGで航空宇宙防衛産業のプライム企業が中心となって作成・維持しているサプライチェーン全体に向けた体系化されたガイダンス/トレーニング資料/ベスト

プラクティスをまとめた文書である。JAQGはSCMH開発に参画するとともに、その和訳版を作成し、組織のQMS (Quality Management System) 向上に必要なベストプラクティスをJAQGメンバーに提供している。

3. サプライチェーンマネジメントハンドブック (SCMH) 説明会概要

SCMH説明会を、11月21日/東京で開催、又併せてオンラインでの配信を行った。会場に直接参加頂いたJAQGメンバーは約20名、オンラインでの参加者は240名を超えた。

SCMH説明に先立ち、山本 博士 JAQG幹事長 (株式会社 IHI) より、参加メンバーへの挨拶、本説明会開催の趣旨として、

- ・ IAQGが開発したSCMHをJAQGがIAQGの了解を得て和訳しJAQGメンバーに提供するものであり、本説明会をSCMH和訳版活用の端緒として頂きたい



山本 JAQG幹事長

・本日はサプライチェーンの上流から下流に係る3つのトピックスの説明を行う、組織のQMS改善に役立てて欲しいとの紹介がなされた。

説明会の概要を以下に示す。(説明順。()内は報告者)

(1) SCMH WG活動説明

(佐藤 浩光 SCMH WG主査 (株式会社 IHI))

本セッションでは、SCMH和訳版の公開状況、SCMH和訳版へのアクセス方法、JAQGが独自に作成したガイダンス文書・ハンドブック等の紹介を行なった。



佐藤 SCMH WG 主査

(2) 製品安全の認識

(岡野 真吾 SCMH WGメンバー (住友精密工業株式会社))

「製品安全の認識」は、9100規格の要求事項である航空、宇宙及び防衛産業における製品安全について、組織全体でその認識を高めることの重要性を強調するものである。

本セッションでは、取組のためのガイダンス、及び製品安全に関する参考情報を提供した。



岡野 SCMH WGメンバー

(3) 運用リスクマネジメントの理解

(藤本 直樹 SCMH WGメンバー (株式会社 IHI))

各組織が効果的なリスクマネジメントを実行することを支援するため、組織内の全てのプロセスからサプライチェーンに至るまでの製品ライフサイクル全体に対してリスクマネジメントを適用する必要がある。

本セッションでは、効果的なリスクマネジメントとその管理を実行するためのガイドラインを紹介した。



藤本 SCMH WGメンバー

(4) 力量管理

(犬塚 智 SCMH WGメンバー (三菱重工業株式会社))

本セッションでは、JIS Q 9100規格の7.2項「力量(*)」と、7.3項「認識」に基づき、技能、個人の特性、及び経験を維持・管理するプロセスの概念を紹介し、併せてテンプレート様式及び活用例についての説明を行った。

注記 *) 「力量」とは、個人の特性を示し、知識と技能を適用する能力のこと。



犬塚 SCMH WGメンバー



説明会の様子 (東京会場) 参加者数; 20名



Japan

SCMH 7.13章 力量管理

JAQG SCMH説明会用

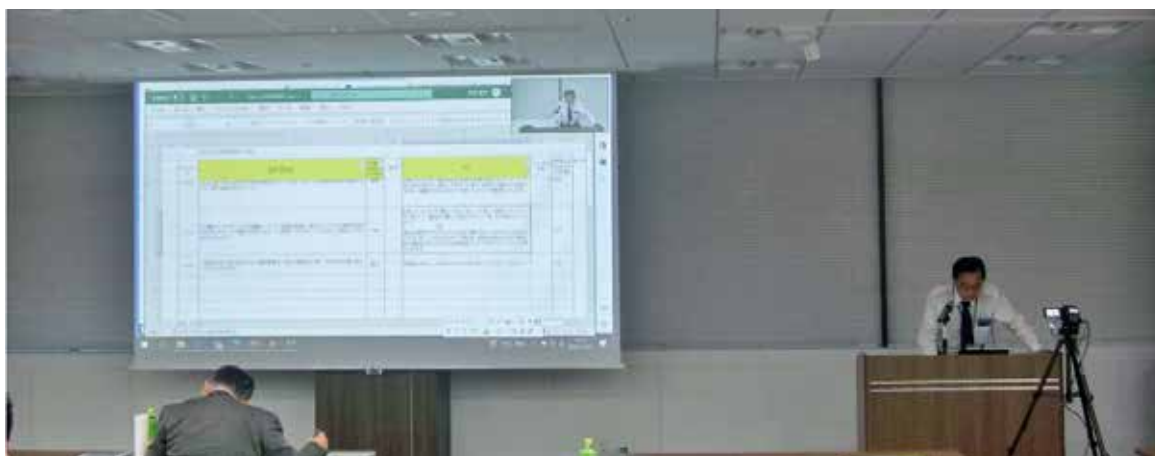
オンラインでの配信の様子 オンラインでの参加者数; 約240名

(5) 質疑応答

本説明会では、説明会開催中にネット上で参加者からの質問を受付け、説明セッション終了後に回答を行った。

説明会当日の配付資料のpdfファイル版、発表動画、質疑応答内容については、JAQGメンバー専用ページに掲載しているのので、詳細は以下を参照されたい。

メンバー専用ページ ⇒ SCMH関連情報
⇒ 令和4年度 SCMH説明会



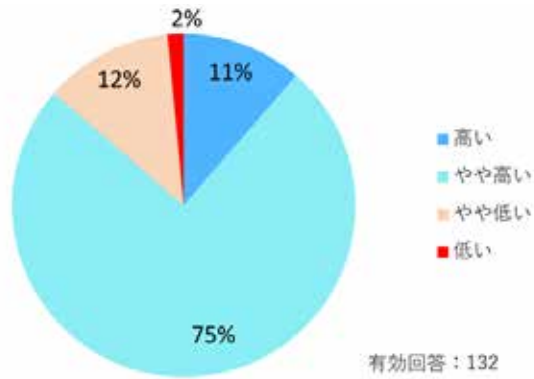
質問回答風景

4. おわりに

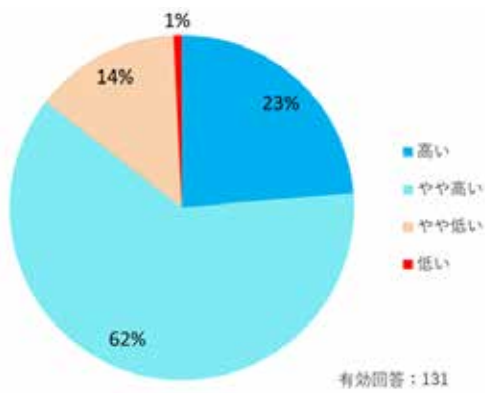
以上、今年度のJAQG SCMH説明会について内容を紹介した。SCMH説明会はJAQGメンバーからの多くの開催要望に応える形で2018年度から開催している。説明会の終了後行ったアンケートでは、「知りたい内容をカバーしていましたか?」、「SCMH説明会は分かり易かったですか?」とのそれぞれの設問に対して、「満足度が高い、やや高い」を合わせて85%~86%との回答を頂き、SCMH説明会へ参加したJAQGメンバーの方に、高い満足度を与えることができたものとする。又、SCMH説明会への参加前後でのJAQG

SCMH資料に対する意識調査も行ったが、JAQGが発行するSCMH和訳版が「自社の活動になくてはならない、かなり利用できる」と思っているとの回答が占める割合は48%⇒55%と上昇し、「知らない、わからない」と言った否定的な回答者が8名⇒3名に減少しており、SCMH説明会を開催した意義はあったものと考えられる。アンケートでは、これ以外にもさまざまな意見を頂戴しており、今後のJAQG活動の参考とさせて頂きとともに、JAQGメンバー会社の品質向上、コスト低減への一助となるように活動を進めていく。

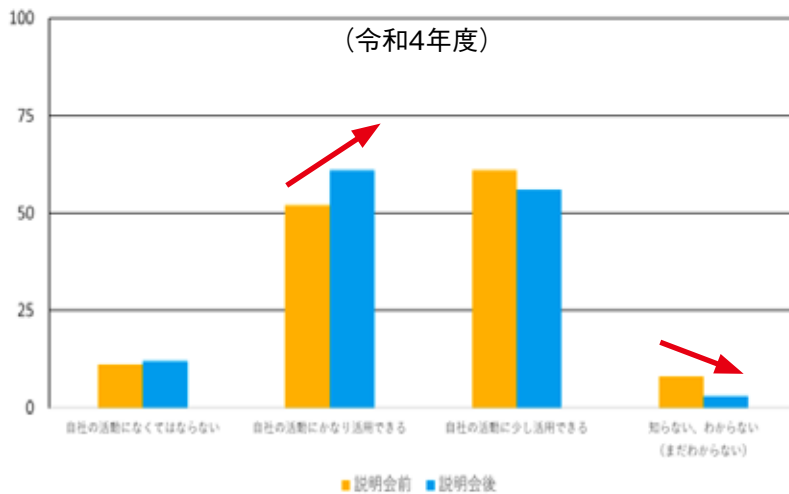
知りたい内容をカバーしていましたか；満足度



SCMH説明会は分かり易かったですか；満足度



SCMH 活用度；説明会前後での意識の変化



〔(一社)日本航空宇宙工業会 航空宇宙品質センター(JAQG) 事務局 部長 前畑 貴芳〕